

1

問一

いまわれわれの構想力を上回るような現実が起きているが、
つくり話には現実に対する理想の姿や予想、想像力が込め
られており、現実に対応するための構想力の訓練になるから。

問二

工 3点

問三

地球規模で国籍に関係なく好きなところに住んだり好きなと
ころで働いたりする移動の自由を手に入れるようになるという、
人類が最終的に目指す理想を先取りして実験すること。

問四

イ 3点

問五

階級闘争 2点

問六

ポリテイカル・コレクトネスへの配慮はある一方で、考える
人自身の身近な範囲にしか適用されておらず、遠く離れた国
や民族の問題にまで配慮が及ばない現状があるという点。

問七

A 工 B ウ C ア D イ 2点×4

問八

ア 養 損 帰属

問九

エ 障害物 等価 2点×5
オ

2

問一

ウ 3点
造園の仕事は好きではなかったが苦ではなく、様々な悩みを
抱えていても仕事は続けていくと決めたから。

問三

イ 3点

問四

明夫の味わっている辛い経験が一刻も早くこの世を逃れたい
と思うほど重いものなのでなくさめる方法が分からないから。

問五

明夫が密漁の疑いで取り調べを受けたり、持病が悪化して
病院に搬送されたことを祐治は知り、父親の六郎のもとに
訪れ、六郎に寄り添いなくさめようとしたがどう言葉をかけて
よいか分からなかったから。

問六

I 腹 II すね III つめ IV した 2点×4

問七

A 工 B オ C ウ 2点×3

問八

工 3点

問九

イ 3点